

# 初秋の夜長はブラームス ～諏訪内晶子が室内楽の名手ワイスとソナタ全3曲

2024年9月。秋のシーズンの到来とともに、諏訪内晶子がブラームスの「ヴァイオリン・ソナタ」全3曲のリサイタルで国内6か所を回る。近年の諏訪内は元々のキリリと引き締まった形、清廉で明確な発音の上に微細な感情の機微や音色の陰影を描き分け、隅々まで熟考された音楽を聴かせる。真剣勝負のテンションはデビュー当時から一貫しているが、豊かな演奏経験を積み重ねた現在は程よい脱力が行き届き様々なニュアンスが自然に溢れ出る。ブラームスでは2019年5月、ヴラディーミル・ユロフスキ指揮ベルリン放送交響楽団の日本ツアーで独奏した「ヴァイオリン協奏曲」の名演が思い出され、鋭く深い内面への踏み込みは諏訪内の新境地を強く印象づけた。自身のポテンシャルを最大限に引き出す共演者を選ぶ鑑識眼の確かさは指揮者だけでなくピアニストに対しても発揮され、2022年と2023年のリサイタルツアーではブルガリア出身の鬼才、エフゲニ・ボジャノフとのデュオで目覚ましい成果をあげた。2024年、ブラームスのデュオ・パートナーは1981年生まれの米国人ピアニスト、オリオン・ワイス。ホルンのデイヴィッド・クーバー、ヴァイオリンのアレクサンダー・カーと録音した「ホルン三重奏曲」(NAXOS)を聴くと美しいタッチ、芯と弾力性を兼ね備えた音のソノリティ、吟味された音色、ソロで突っ込む場面とオブリガートで引っ込む場面を良くわきまえた様式感など、すべてがブラームスの世界に適合している。ブラームスは20歳ころ書いたヴァイオリン・ソナタを破棄、出版した3曲は46～55歳の円熟期の作曲だ。第1番《雨の歌》に限らず3曲すべてが自作の歌曲と関連する。練達の室内楽奏者2人を得て聴き手が「読み解く」パズルのピースの数は限りなく膨大であり、興味が尽きない。

池田卓夫

音楽ジャーナリスト@いけたく本舗

© TAKAKI KUMADA

© Lisa-Marie Mazzucco

## 諏訪内 晶子 (ヴァイオリン) Akiko Suwanai, Violin

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュ、ゲルギエフらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ロンドン響、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。近年ではゲルギエフ指揮ロンドン響とのツアー、パリ管とのヨーロッパおよび日本ツアー、チェコ・フィルとの中国ツアーを行い、オスロ・フィル、バンベルク響、デトロイト響、トゥールーズ・キャピトル管とも共演。2012年、2015年エリーザベト王妃国際コンクール、2018年、2023年ロン・ティボー国際コンクール、2019年チャイコフスキー国際コンクールヴァイオリン部門審査員。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。レコーディングでは、デッカより、最新作「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ(全曲)」を含む15枚のCDをリリースしている。

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学び、2021年学術博士課程修了、ドイツ国家演奏家資格取得。

使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr.Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のグアルネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。

## オリオン・ワイス (ピアノ) Orion Weiss, Piano

同世代で最も引く手あまたのソリスト及び室内楽共演者のひとりであるオリオン・ワイスは、「力強いテクニックと非凡な洞察力」(ワシントン・ポスト)を持つ「才気あふれるピアニスト」(ニューヨーク・タイムズ)と広く見なされている。シカゴ交響楽団、ボルティモア交響楽団、ボストン交響楽団、サンフランシスコ交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、ニューヨーク・フィルハーモニックを含む北米の多数のオーケストラと共演し、世界中の主要な公演会場や音楽祭に出演している。

室内楽を好むことで知られているワイスは、多数のソリストと定期的に共演しており、その中にはヴァイオリニストのアウグスティン・ハーデリヒとジェイムズ・エーネス、ピアニストのマイケル・ブラウンとシャイ・ウォスナー、そしてアリエル・カルテット、パーカー・カルテット、パシフィカ・カルテットが含まれる。近年はイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ピッツバーグ交響楽団、トロント交響楽団、ナショナル・アーツ・センター管弦楽団、オルフェウス室内管弦楽団とも共演している。ワイスの録音はナクソス、Telos、ブリッジ、ファースト・ハンド、Yarlung、Artekの各レーベルから出ている。

これまでにクラシック・レコーディング財団のヤング・アーティスト・オブ・ザ・イヤー、ギルモア・ヤング・アーティスト賞、エイヴリー・フィッシャー・キャリア・グラント、ミエチスラフ・ムンツィ・スカラシップを授与されている。オハイオ生まれ。クリーヴランド音楽院とジュリアード音楽院に通い、後者ではエマニュエル・アックスに師事した。

[www.orionweiss.com](http://www.orionweiss.com)

## 2024年リサイタル公演その他の全国スケジュール

- 9月6日(金) 愛知県芸術劇場コンサートホール  
(問)クラシック名古屋 052-678-5310
- 9月7日(土) 大垣市スイトピアセンター  
(問)大垣市文化事業団 0584-82-2310
- 9月14日(土) ザ・シンフォニーホール  
(問)ABCチケットインフォメーション  
06-6453-6000
- 9月15日(日) 西条市総合文化会館  
(問)西条市総合文化会館 0897-53-5500

## <特別割引チケットのご案内>

ジャパン・アーツびあオンラインチケット及びジャパン・アーツびあコールセンターで受付  
川崎公演のみ、神奈川芸術協会でも受付

◎シニア・チケット：65歳以上の方は5席7,200円にてお求めいただけます。

◎学生席 (S席4,000円 A席3,300円 B席2,500円)

残席がある場合に限り8月3日(土)10:00より受付を開始いたします。※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証が無い場合は一般料金との差額を頂戴いたします。)

◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(東京公演はジャパン・アーツびあコールセンターで、川崎公演は神奈川芸術協会にて受付)

<次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。>

①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただくこととなります。時間には余裕をもってお越しください。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。券面に記載された指定のお席にてご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

X(旧Twitter)でフォローする  
X@japan\_arts